

あきる野カルタ

～みんなに伝えたいあきる野の魅力～



増戸小学校6年生の中村江汰（なかむらこうた）くんは、あきる野市に住んでいる子どもたちに、あきる野市の魅力を更に知ってほしいと思い、市のことを詳しく調べ、「あきる野カルタ」を作りました。このカルタは全て、あきる野市に関連のある自然や文化、食べ物などを題材として作られています。

江汰くんが「あきる野カルタ」を作ろうと思ったきっかけは、あるテレビ番組で群馬県の「上毛カルタ」の特集が組まれていたのを見たことです。『上

毛カルタ』のように、あきる野市のカルタを作ってみたら面白いな、と思ったそうです。このカルタは、学校で中休みと昼休みの時間を費やし、約1

年かけて作り上げました。江汰くんが文章を作り、協力してくれた先生が文章に関係する写真を採って絵札にする作業を行いました。

作るに当たって苦労した点は、あきる野市の名所を調べ、その名所について全て五十音で始まる文章を考えることだったそうです。

五十音全てのひらがなの札を作ることは、とても大変でしたが、都道府県カルタなどを参考に、言葉遣いなども工夫して、作り上げました。完成したときには、「ついにはやっただぞー！」という達成感でいっぱいだったと、江汰くんは「〇〇〇と素敵な笑顔で語ってくれました。」「がんばって作ったこの『あきる野カルタ』が、群馬県の『上毛カルタ』のように、あきる野市の皆さんに活用されたらとてもうれしい」と、江汰くんは目をキラキラさせながら話してくれました。

江汰くんも小学3年生のときに、あきる野市についての学習をしました。そのときに、自分が暮らしているあきる野市の魅力を感じたそうです。その経験から、まずは増戸小学校の下級生があきる野市を学ぶときの教材として使ってもらいたいと思い、3年生の先生に「あきる野カルタ」を使ってほしいとお願いにいったところ、快諾してもらえました。

そして、ついに3年生の子どもたちが、あきる野市について学ぶときに、「あきる野カルタ」を通して、遊びながら、あきる野市について知識を深めることが実現しました。江汰くんにとって、とてもうれしかった出来事となりました。カルタで遊んだ3年生から

「草花ぐるのカルタ」を作りました!



草花小学校では、「草花ぐるの育」の取組の一環として、「草花ぐるのカルタ」を作成しました。地域の自然・歴史・文化から考え、「鮮やかな緑の恵み野良坊菜」等の作品ができました。このカルタは、草花小学校の児童から寄せられた475件の応募作品の中から選ばれた45作品で構成されています。

選考に際しては、保護者・地域の方にも多数参加していただき、カルタ箱の表紙は、草花児童館館長が作成してくれました。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。なお、このカルタは、中央図書館にもおいてあります。ぜひご覧ください。

は、「6年生が作ったとは思えないカルタでびっくりしました。」「あしかの形やサマーランド、ラーメンつけめんがおもしろかったです。」「行ったことがある場所もあって楽しかったです。」「知らないこともたくさんあって、調べた6年生はすごい

と思いました。」「6年生が作ったカルタをやって、みんな楽しく、カルタができてよかったです。」「カルタの言葉は難しかったけど、写真があったので楽しくできました。」「この感想が寄せられました。今後、増戸小学校だけでは

なく、あきる野市の全ての小学校の3年生が、江汰くんが作ったこの「あきる野カルタ」で遊ぶことを通して、あきる野市の魅力について、もっと知ってほしいという夢があるそうです。

